

能登半島地震に係る 大阪府公衆衛生班活動報告 ～ 輪島市 ～

【大阪府1班】
令和6年1月14日(日)
～
1月18日(木)



東山、山崎、上澤、古賀
(保健師)(保健師)(薬剤師)(獣医師)

公衆衛生チーム（保健師等）活動報告（初発隊として）

- 1 初発隊として
- 2 道路状況等
- 3 避難所等での活動
- 4 課題等



《 活動の概要 》 初発隊として（活動期間：1月14日から18日）

1月14日
（日）

- ・大阪→金沢市内（車で移動）（車内で天候、道路状況等の情報収集）
- ・職員間のコミュニケーション ・輪島市内での必要な食料の購入
- ・必要な物品の購入 ・購入場所等を本庁へ連絡 ・服装や持ち物等を本庁に連絡

1月15日
（月）

- ・石川県庁（金沢市内）でオリエンテーション
- ・金沢市内→輪島市（車で移動）（9：50発→14：20着：4時間30分）
- ・保健所でDHEATからのオリエンテーション及び他府県の活動状況の聴取
- ・本庁への現地状況に関する随時報告
（特に道路、ガソリンスタンド、トイレ、宿泊施設等の状況）

1月16日
（火）

- ・避難所での支援活動（終日）及び活動状況の報告・意見交換
- ・活動内容等を本庁及び次班へ連絡
- ・支援活動の課題整理

1月16日 18：40頃
震度5弱の地震発生
@能登北部保健所

1月17日
（水）

- ・避難所等での支援活動（午前）
- ・次班（2班）へ引継ぎ→金沢市内（車で移動14：45発 18：55着）
- ・活動内容等を本庁へ連絡、第3班への引継ぎ準備

1月18日
（木）

- ・午後金沢市内で第3班へ引継ぎ、物品の確認と整理
- ・金沢市→大阪（電車）
- ・活動内容等を本庁へ連絡

2 道路状況

● 通行止めが多い

- ・カーナビだけでは目的地にたどり着けない

ナビが示す通行止め区間以外にも通行止めがあった。一方、一般車両向けの情報のため、例えば、災害支援関係車両は実際には通行できるのに通行止め表示されている場合など、「カーナビを信用できない」状況の中、「カーナビに従う」日頃の運転習慣にも影響されるため、運転者の負担が増した。

- ・道路状況は日々変わるので最新の情報をとることが重要

● 道路の陥没、橋の破損・浮上、マンホールの浮上、家屋の倒壊など思わぬ障害が多い。

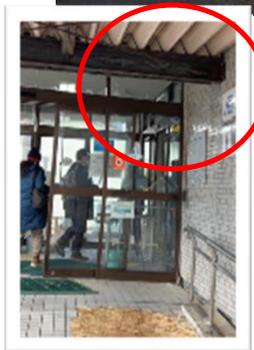
穴水町付近から急激に道路状況が悪くなる

(特に、夜道、雪道では道路の陥没などが気付きにくい) →前方車などの動きを注視して、スピードを出しすぎに注意

● 降雪、積雪が多い日がある。

3 輪島市 避難所等での活動

保健所の風景



←ガラスの破損



* 保健所自体も傷んでいる

* 保健所のトイレ：

小は柄杓1杯、大は適正量を雪解け水等を活用し流水。

紙ごみは自身で持ち帰る



支援チームの部屋

3 輪島市 避難所等での活動 (1) 県保健福祉センター（保健所）での活動

熊本DHEATが指示命令

《 活動スケジュール 》

- ・8：45集合で朝のミーティング→DHEATより活動の指示
- ・9：00頃 車で現地に向かい活動
- ・12：00頃 一旦保健所へ帰庁
(場所によっては帰庁なしで可調

DHEATと調整)

- ・13：00頃 車で現地に向かい活動
- ・16：00までに保健所へ帰庁
- ・16：00～ 報告会

輪島市地図



輪島市まちづくり推進課HP引用

DHEAT体制

石川県保健医療福祉調整本部

1月17日

北海道、栃木、沖縄

能登北部保健福祉センター

滋賀

中部保健福祉センター
中部現地保健医療福祉調整本部(仮)

和歌山

輪島市

熊本

保健師等チーム

珠洲市

岐阜

保健師等チーム

穴水町

大阪

保健師等チーム

能登町

茨城

保健師等チーム

七尾市

保健師等
チーム

志賀町

保健師等
チーム

中能登

保健師等
チーム

| | 能登北部保健所 | | | | 能登中部保健所 | | | 1.5次避難所 |
|-------|------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------|----------------|-------------|------|------------------------|
| | 輪島市 | 珠洲市 | 穴水町 | 能登町 | 七尾市 | 志賀町 | 中能登町 | |
| 支援組織 | 輪島市 保健医療福祉調整本部 (輪島市役所) | 珠洲市 保健医療福祉調整本部 (健康増進センター) | 穴水町 地域医療救護活動支援 室 (保健センター) | 能登町 保健医療福祉調整本部 (能登町役場) | 能登中部保健センター | | | |
| DHEAT | 熊本県 能登北部保健所: 滋賀県 | 高山県→岐阜県 | 大阪府 | 茨城県 | 能登中部保: 和歌山県 | (和歌山県) | | 金沢市: (栃木県) 小松市: 長野県 |
| 保健師 | 6チーム 17人 | 11チーム 32人 | 3チーム 9人 | 6チーム 15人 | 7チーム 18人 | 5チーム 10人 | | 金沢市 8チーム 28人 |

- DHEATは医師1名、保健師2～3名、業務調整員（薬剤師・獣医師等専門職も可）1～2名の合計5～6名構成が基本
- 今回の災害においても、DHEATは石川県庁、県保健所、市町保健センター等で調整機能の支援を実施

熊本DHEATより 活動に係るオリエンテーション

1 各拠点の場所

■各拠点の場所

- ・滋賀県DHEAT、熊本県DHEATの活動拠点
- ・輪島地区保健師チームの活動拠点
- ・8時45分、16時00分 輪島地区保健師ミーティング
- ・17時00分 門前地区保健師ミーティング

石川県能登北部保健福祉センター

・輪島市子育て健康課
(市PHN活動場所)

- ・輪島市保健医療福祉調整本部 (市役所2階)
- ・DMAT、日赤、NHO等医療チームの活動拠点
- ・12時30分 輪島市保健医療福祉調整本部会議
- ・19時00分 避難所ミーティング

徒歩8分



関係機関の状況

①医療機関の稼働状況

- 7か所(通常診療2か所、簡単な診療のみ5か所: 1/11時点)
- ふれあい健康センター内に市医師会事務局あり。
- 稼働している状況は輪島市医師会ホームページ参照。

② 薬局の稼働状況

- 4か所(1/11時点)

③ 石川県薬剤師会

- モバイルファーマシーが配備済み
- OTC(一般医薬品)を避難所に配備予定
- 処方薬の調整(災害処方箋、医療保険による処方 1/15~)



薬局機能を搭載した大阪府薬剤師会のモバイルファーマシー(災害時調剤支援車)が輪島市門前町にて活動



課題

①輪島市保健師の負担軽減

- 特に△●統括保健師が様々な業務を兼任している

②避難所への対応

- 感染症対策：感染症クラスターが発生しており、DMATと連携して対応中。
：炊き出し等の注意喚起のチラシを配布(1/15～)
- 福祉的対応：要支援者が多い。DMAT派遣を依頼済(1/14未派遣)
- 避難所情報：食事(2回/日・お弁当なし)の改善の見込みなし。
孤立地域(3地域)は自衛隊・DMAT対応。

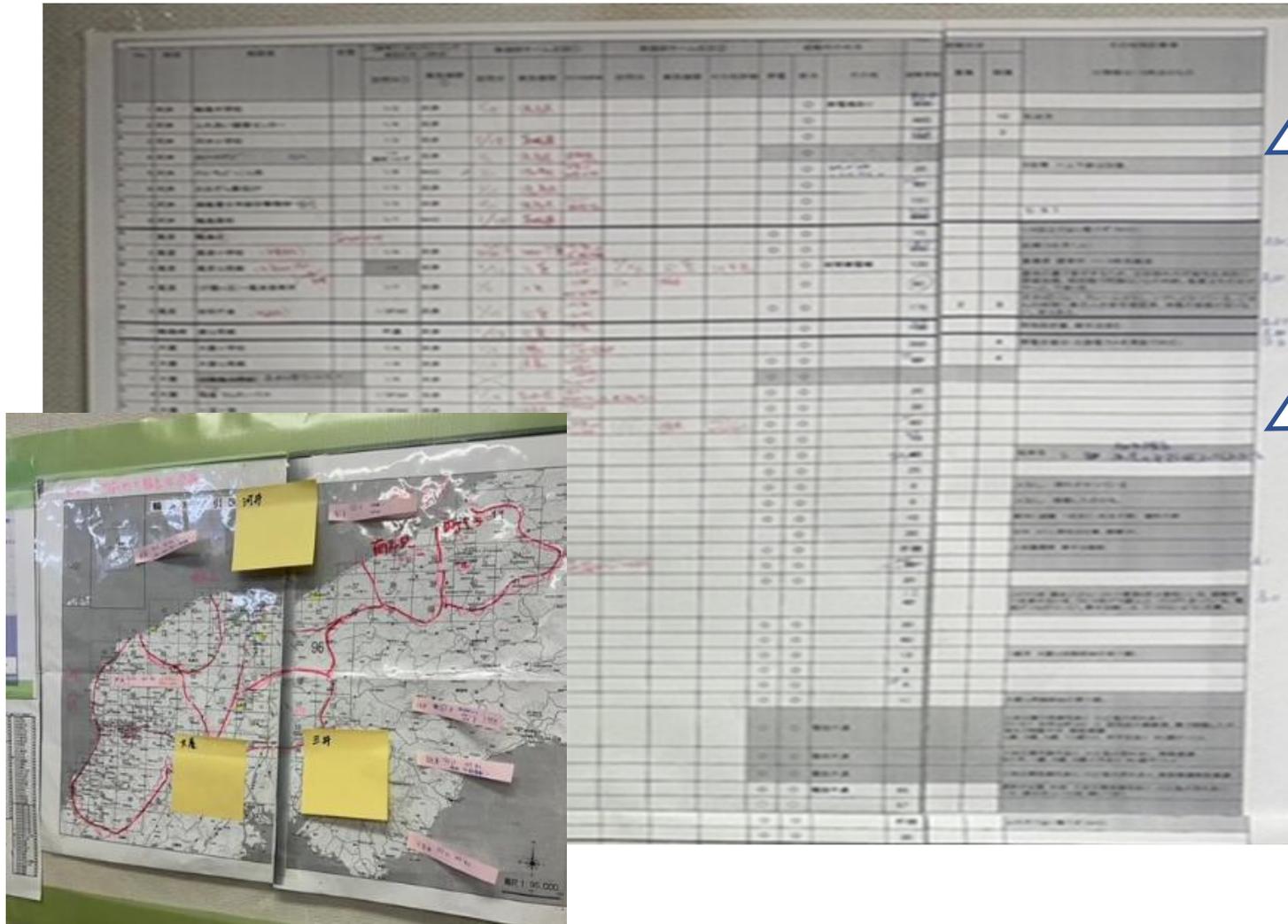
③避難対応

- 能登北部の要支援者(高齢者、妊婦、乳幼児、障がい者)を金沢市などの
1.5避難所(かなざわ総合スポーツセンター等)、2次避難所(金沢以南の県内外のホテル)に移送。
- 1.5避難及び2次避難の避難者リスト作成は輪島市が対応中。
1.5次避難はDMATが支援。2次避難は希望者のみ対応中。

④福祉部署との連携

- 避難所には要支援の避難者が多数おり、市外への避難を進めている。

公衆衛生班 活動場所（避難所）の一覧と情報



発災直後に日赤チームが
FAX等を使って情報収集し
一覧にまとめた

住所など詳細情報がどこ
に集約されているかわか
らずスマホで検索
※避難所名「〇〇さん
宅」なども多い

【今後に向けて】
外部からの支援チームに活
動してもらえるよう、
地図や活動場所に関する情
報提供の準備が重要！

3 輪島市 避難所等での活動（2） 避難所での活動

ア 避難所基本情報の収集・記録

- ・避難者数、医療・健康福祉（介護・こころの健康状態の把握を含む）ニーズ、感染症発生状況、インフラ、衛生・環境、食事の提供状況等

イ 保健師活動

- ・健康相談
- ・検温、血圧測定
- ・医療ニーズの把握（薬等）
- ・感染症発生状況の把握等

ウ 環境・食品衛生（生活環境）等の活動

- ・衛生状況の把握（床面、トイレ、ごみ置き場、シャワーを重点的）
- ・換気状況の把握（CO₂、CO、温度、湿度を現場測定（粉じんは状況判断で測定せず））
- ・ペット相談
- ・食品衛生対策（飲料水・食品の保管状況の確認、炊き出し実施者の把握）
- ・府で作成した「避難所における環境衛生対策ガイド」を管理者に配布

避難所の状況、活動風景



入り口は
急な階段を上った2階

感染症患者は
上階スペースの
テントに隔離



靴の履き替えエリア

河合小学校体育館（指定避難所）

避難所の状況、活動風景



土足と寝るスペースが隣接している。

元は土足の会議スペースを避難所としているため、開設当初は中まで土足で入っていた。

お薬がもうなくなります。

薬剤師さんに病院と連絡して持ってきてもらいましょうか。



それぞれの居住エリアを確保されており、段ポールベッドの設置が難しい。

農協 能登おおぞら村輪島

避難所の状況、活動風景

応急危険度判定で赤
(危険)の建物を避
難所としている
(自主避難所)



倒壊した自宅から食料を
持ち寄り自炊している。

日中は仕事等で外
出する人が多い。



わいちどっこら処

避難所の状況、活動風景

道路から高台になっているため、一見、集会所（避難所）とはわかりにくい。



急な坂
(凍っている)



食料の持ち寄り、山の水の調達などしながら、超過密によるクラスターのピンチを自分たちで何とか乗り越えた事例



発災から4-5日めでコロナのクラスター発生。感染者専用の避難所スペースへ移動した。

一時は50人くらい集まったが、2週間後の今は6~8人くらい。

下黒川町集会所

4 課題等 (1) 避難所等の課題等

- 指定避難所よりも自主避難所が多い
- 避難所管理者（特に自治体職員）は相当疲弊している。
- 医療機関への受診：高齢者等受療行動がとりにくい人が多い。
- 避難者の健康状態：感染症など急性の症状・疾患への対応に加え、
血圧の上昇など循環器疾患の悪化リスクにも注意が必要。

《 環境 》

- プライバシーが守られる状況にない
- ほとんど土足に近い状況
- トイレの水洗化ができない、手洗いがない場合が多い（断水の影響か？）
- 風呂はないところが多い（シャワーは一部に設置はあるが寒いため利用しない方もいる。）
- 寝具類は交換・洗濯がなされていない
- 換気状況が悪いCO₂、CO高め（石油ストーブ等）
- 炊き出しの実施者を保健所で把握できていない

《 新たな課題 》

- **ペットに関する問題**（車での避難生活、トラブルは少ない・・・地域コミュニティの良さ？）
- **二次避難への選択**：独居や高齢世帯など新しい地域での生活に不安を抱える人が避難所に留まっている。
※ 支え合う中で仲間が減っていく「取り残され感」や、決めたくても決められない焦燥感・無力感などの声を聞いた。

《 発災から約2週間 》

- 二次避難への移動が進む中、
避難所の過密度は緩和傾向
- 健康課題は感染症から基礎疾患、
特に循環器疾患への対応にシフト

4 課題等 (2) 支援側の課題等

- 地域の生活情報の把握が困難（地理や医療機関など生活支援情報など把握が難しい。）
- 県、市、**DHEAT**等との連携による指示命令や情報伝達系統の統一化が必要。
支援チーム間の活動状況が共有されておらず、各支援チームの活動場所に偏りが生じている。
（同一避難所に多くの支援チームの訪問があり、管理者・避難者に混乱が生じている。）
（一方、支援が入っていないところもある。）
- 保健活動とともに環境・食品衛生等の専門職の支援も必要。
- 避難所管理者（特に市職員）の疲弊解消に向けた体制整備が必要。
- 報告書類の効率的な運用の整理と活用方法の検討が必要。
（例：避難所アセスメント情報が評価データとして現地で活用されていない）

保健師と環境/食品衛生監視員との合同チームでの活動はそれぞれの専門性による支援と評価ができ非常に有効な活動ができた。

保健師の支援活動において、血圧測定はコミュニケーションのきっかけとして重要な役割となる。血圧測定の際に色んな話を聞ける機会となる。

色んなフェーズでの活動を府内で共有し、災害支援の対応力を向上するとともに支援者の技術継承に取り組むことが重要。

保健所保健師の立場から

これからの備えの重要性 ～地域の市町とともに考える～

1) 保健センター（保健師等）の役割と保健活動

支援力の活用を想定した備えをする

- 保健部門の活動内容の明確化と**拠点の確保**
(災害対策本部の情報をタイムリーに把握し、支援チームに発信できる場所に拠点をもつ。)
- 各支援チームに**地域情報**を伝えるための準備
(地理情報、避難所、要支援者)
(**地域住民や支援者、組織との協働**)

地域住民やコミュニティとの協働

- 住民や支援者に向けた**ライフライン**情報の発信方法の確保と共有 (医療機関の情報、ごみの収集、給水、物資の配給など)

ライフラインの情報を集約していると支援者から住民への情報提供がなされ、自治体職員の負担も軽減される

輪島市LINE →



これからの備えの重要性 ～地域の市町とともに考える～ 2) 避難所運営（季節とライフラインを考慮）について

支援力の活用！ 危機管理等他部署との連携！

- 感染症対応
(検査・診療場所、療養場所、搬送方法、介助者の感染対策等)
- 冷暖房器具（停電の有無に応じた器具の準備）
- 段ボール簡ト・簡易テントの設置
- 簡易トイレの設置（トイレの種類・数・設置場所）
- 手洗いブースの設置と水の確保
- 換気方法（環境評価と評価者）
- 土足エリアの設定
- ゴミの収集・置き場所（匂いの問題）
- 食品管理エリアや炊き出しの管理方法
- ペットの問題

